

新カリ
授業科目

言語発達学

【担当教員名】 市島民子	対象学年	1	対象学科	言語															
	開講時期	後期	必修・選択	必修															
	単位数	1	時間数	15															
<p>【<概要>又は<一般目標：GIO>】</p> <p>言語発達の前言語期から言語期への過程を中心に学ぶ。 前言語期では、音声言語の基盤である音・音声およびコミュニケーションの発達過程について 言語期では、“ことばはいかに獲得されるか”というテーマで、初期言語獲得過程について学習する。</p>																			
<p>【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健常児の言語発達は、言語発達障害の基盤であり、言語臨床の評価および指導のために必須である。すべてが基礎知識として必要であるため、確実に学習し理解する。 ・視聴覚機器を使用することで、実際の状態を確認しながら、各々が具体的に、体験的な学習となるよう努める。 ・基礎的な知識として、専門用語を理解し、使用できること。 																			
回数	計画又は学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員															
1	言語発達とその関連領域	全体発達の一領域としての言語を理解する		講義															
2	乳児のコミュニケーション	養育者との関係性を中心として。視ること		講義・視聴覚機器使用															
3	乳児のコミュニケーション	養育者との関係性を中心として。聴くこと		講義・視聴覚機器使用															
4	音・音声の発達（1）	声から音声への過程		講義・視聴覚機器使用															
5	音・音声の発達（2）	音声からことばへの過程		講義・視聴覚機器使用															
6	音韻発達	初期言語獲得（移行期の過程）		講義															
7	総括	言語発達研究の紹介および解説		講義															
<p>【使用図書】</p> <table border="1"> <tr> <td>教科書</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考書</td> <td>入門コース</td> <td>ことばの発達と障害 1：ことばの発達入門</td> <td>秦野悦子編</td> <td>大修館書店 2001年</td> </tr> <tr> <td>その他の資料</td> <td colspan="4">講義では全てプリント使用</td> </tr> </table>					教科書					参考書	入門コース	ことばの発達と障害 1：ことばの発達入門	秦野悦子編	大修館書店 2001年	その他の資料	講義では全てプリント使用			
教科書																			
参考書	入門コース	ことばの発達と障害 1：ことばの発達入門	秦野悦子編	大修館書店 2001年															
その他の資料	講義では全てプリント使用																		
【評価方法】		【履修上の留意点】																	
小レポート 試験またはレポート																			